

随意契約結果及び契約の内容

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|-----------------------|-----------------------|----------------------------|--|
| 業 務 の 名 称 | 令和8年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務 | | | | | |
| 業 務 概 要 | 業 務 名 称 | 業 務 内 容 | 単 位 | 数 量 | 摘 要 | |
| | 新門司沖浚渫土砂利活用検討業務 | | | | | |
| | 計画準備 | 計画準備 | 式 | 1 | | |
| | 高強度固化試験体の活用検討 | 高強度固化土製作方法の検討 検討結果の解析及び効果の検証 高強度固化体の長期特性評価 | 式 式 式 | 1 1 1 | | |
| | 改質土の活用検討 | 改質土の簡易配合試験の検討 牡蠣殻添加改質土の特性検証 牡蠣殻添加改質土の破壊メカニズムの検討 結果の解析及び特性評価 現地試験施工の検討 | 式 式 式 式 式 | 1 1 1 1 1 | | |
| | 協議・報告 | 協議・報告 | 回 | 3 | 事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回 | |
| | 成果物 | 業務完成図書作成 | 式 | 1 | | |
| | 契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に 所 属 す る 部 局 の 名 称 及 び 所 在 地 | 分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 鈴木 賢治 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40 | | | | |
| 契 約 年 月 日 | 令和8年6月5日 | | | | | |
| 契 約 業 者 名 | 令和8年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務 沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体 | | | | | |
| 契 約 業 者 の 住 所 | 東京都港区西新橋一丁目14番2号 | | | | | |
| 契 約 金 額 | 31,680,000 円(税込み) | | | | | |
| 予 定 価 格 | 31,691,000 円(税込み) | | | | | |
| 随 意 契 約 に よ る こ と と し た 理 由 | 本業務を的確かつ円滑に実施するためには、高強度固化土及び改質土に関する豊富な知見や高強度固化体及び改質土を建設材料として港湾構造物等へ利用するにあたっての豊富な技術の知見、さらには有識者との調整能力を有している必要がある。 以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験及び能力(技術者資格等、業務執行技術力)、実施方針(業務理解度、実施手順等)、特定テーマに対する技術提案(的確性、実現性)の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「牡蠣殻を加えた改質土の強度特性を把握するための検証項目及びその手法」についての着眼点や問題点、具体的な解決方法等を評価し、令和8年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体が最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。 | | | | | |
| 業 務 場 所 | - | | | | | |
| 業 種 区 分 | 建設コンサルタント等 | | | | | |
| 履 行 期 間 (自) | 令和8年6月5日 | | | | | |
| 履 行 期 間 (至) | 令和9年1月29日 | | | | | |
| 備 考 | | | | | | |